

3月11日を迎えて

9年前の3月11日午後2時46分に発生したマグニチュード9.0という巨大地震と津波は、被災地の姿とそこに住む人々の人生を大きく変えてしまいました。震災により亡くなられた方はこれまでに1万8,428名、災害関連死は3,739名にも上り、現在も4万355名の方が避難生活を続けておられます。

自分の家族や友人を失った悲しみや、故郷を離れて暮らす寂しさ等は、被災された皆さまの心の中に深く刻み込まれたまま、9年という月日が流れました。この震災でお亡くなりになられた方々のご遺族の皆さまに対し、改めて哀悼の意を表します。また、これまで被災地の復興・再生にご尽力されてきたすべての皆さまに心より敬意と感謝を申し上げます。

今日、被災地域には巨大な防潮堤が建設され、嵩上げされた大地の上には新たな街が建設されました。震災前から営業していた店舗等の経営者の中には、新たな店舗を建て再出発した方々もいらっしゃいます。また3月14日には、JR常磐線の富岡駅～浪江駅間が開通する予定です。

ハード面では復興作業が進む一方、元住民の帰還が進まず多くの地域が今後の地域コミュニティや地域経済の縮小、雇用の確保、子ども達の教育等に悩んでいます。また、時間の経過とともに被災者の孤立や心のケアなどの課題が浮き彫りになっています。復興の進行度も地域によって差が見られるようになってきました。引き続き、被災地と被災者に寄り添った復興の取組みを推進できるよう万全の体制整備と十分な財源確保に力を尽くします。

また、東京電力福島第一原子力発電所の廃炉作業、除去土壌や処理水等の処分、風評被害対策など福島県内の再生復興には多くの課題があります。これらの課題に対しては、国がラストマン意識をもち、あらゆる政策資源を投入できるよう全力を尽くします。

これからも震災の記憶と教訓を風化させず、復興への歩みを加速し、一日も早い被災地の復興と被災者の生活の再建を実現するため全力を尽くすことをお約束申し上げます。

2020年3月11日

衆議院議員 浅野 哲

浅野 哲